

運動部活動中の事故に注意!

! 令和元年度の運動部活動中に発生した事故のうち、**重症事故***が**約37%**発生しています。

※重症事故：ここでは骨折、靭帯損傷、頭蓋内損傷、半月板損傷、頸髄損傷などを言います。

事故発生件数

289,981件

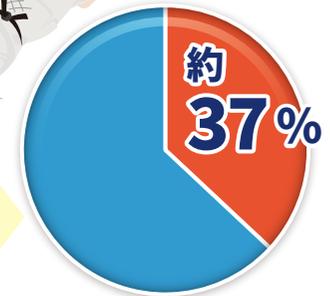
全ての事故件数(554,421件)のうち、運動部活動中に発生した事故件数の割合



重症事故の発生件数

107,051件

運動部活動における事故のうち、重症事故の割合



ヒヤッとしたこと、ありませんか?

- 剣道部の練習中、頭部を竹刀で打たれた際に相手の竹刀のささくれのようなものが面の隙間から目に入った。なかなかとれなかったため、目を洗ったりしていたがとれず、左眼が真っ赤になってしまった。【中2・女】
- 野球部の練習中、雨天練習場にて打撃練習の投手をしていた。防球ネットが破れていたため打者の打った打球が抜けてしまい、投手をしていた本人のヘルメットと右眼(瞼)に当たった。【高2・男】



竹刀のささくれに気づいていれば、ネットの破れに気づいていれば、防ぐことができたかもしれません。ヒヤッとして済んだ出来事でも、もっと大きな事故になっていたかもしれません。少しでも気になったら、発生前に対策を立てましょう!



事件事例や事故防止のポイントはパンフレットに掲載しています。学校安全Webの他の資料と併せてぜひご活用ください。



▼ JSC ホームページ「学校安全Web」からダウンロードできます!

https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/bousi_kenkyu/tabid/3010/Default.aspx

知っておきたい! ~ 運動部活動で事故が起きてしまったら ~

JSCは、平成21年度～平成30年度の死亡・障害事故事例データに基づき、高等学校の部活動の死亡事故について早稲田大学と共同研究を実施しました。共同研究により判明した結果から、教職員の皆さんや指導者の皆さんに活用頂きたい資料をご紹介します。

運動部活動中の死亡事故事例全体の70%が、**心臓系突然死と熱中症**によるものでした。

蘇生に成功した心停止の症例の84%では、**救急隊の到着を待たずにAEDが使用された**

AEDの使用方法を習得しておくことが大切です!

死亡に至る熱中症が発生した際の治療で、氷水浸漬(アイスバス)による全身冷却を**事故現場で実施した事例はなかった**

救急車が到着するまでの間、**身体を冷やすことが出来るように準備をすることが大切です!**



【映像資料】
「運命の5分間 その時あなたは～突然死を防ぐために～」
「熱中症を予防しよう ー知って防ごう熱中症ー」
で準備や対応方法をご確認いただけます。

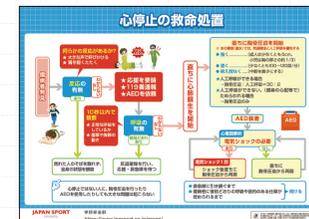


ほとんどの事故(83%)で教職員が初期対応にあたった
養護教諭が初期対応できた事例は16%

教職員・指導者の皆さんも、初期対応ができるように
事故対応ハンドブックや映像資料の活用を!



この他にも、学校安全Webには現場でご活用
頂きたい資料をご用意しています。
ぜひご確認ください!



参考資料: YAMANAKA, Miwako(2021). Epidemiology of Sports-Related Catastrophic Injuries and Safety Management in High School Organized Sports in Japan, スポーツ庁委託事業 スポーツ事故防止ハンドブック/スポーツ事故対応ハンドブック、映像資料(DVD) スポーツ庁委託事業「学校でのスポーツ事故を防ぐために」